

令和3年度第1回 仙台市学校給食運営審議会 会議録

1. 日時

令和4年3月15日（火） 開会：午前11時30分 閉会：午後1時30分

2. 場所

仙台市立高砂小学校 2階 コスモスホール

3. 出席委員

目黒 悟 会長、丹野 久美子 副会長、岩井 博美 委員、渡辺 博 委員、
高橋 綾子 委員、岡崎 博子 委員、工藤 京子 委員、伊藤 和裕 委員、
加藤 恵美 委員、小暮 麻美 委員

4. 事務局職員

今村総務企画部長、中村健康教育課長、佐藤健康教育課主幹兼給食事業係長、
杉淵給食管理係長、鎌田給食事業係主査

5. 議事「令和3年度の学校給食の現状について」

会長 議事「令和3年度の学校給食の現状について」の資料について、事務局から説明願う。

事務局 (資料1頁から11頁に基づき説明)

会長 事務局の説明に対し、意見や質問はあるか。

岩井委員 高砂小学校での食育の取り組みに関して質問したい。私は以前、調理製菓専門学校で教えていた経験がある。専門学校には東北6県から生徒が通学しており、地方から来ている生徒の方が、都会から来ている生徒と比べ、郷土料理に対する愛着心があり、調理実習においても、「自分の地元ではこの調味料を入れる」などこだわりが強かったように感じ

る。

コロナ禍で地方の祖父母宅で食事をする機会が減り、子供たちの郷土料理への親しみが薄れていってしまうことを心配している。

学校給食では、郷土料理を提供するなどの取り組みは行っているのか。また、今後行う予定はあるのか。

会長 高砂小学校の栄養教諭である岡崎委員から回答願う。

岡崎委員 郷土料理は給食に取り入れるように心がけているものの一つであり、旬の食材や、行事食を通して郷土料理を伝えている。

そのため、給食センター対象校でも単独調理校でも、郷土料理は定番メニューになっている。

会長 他に意見や質問はあるか。

渡辺委員 郷土料理については、学校給食だけでなく、家庭にも働きかけをし、日本の優れた文化として残していくよう取り組んでいただきたい。

また、コロナ禍で物価が上昇する中、いつまで現状の給食費のままでいられるかを心配している。

令和2年度の給食費の改定にあたっては、多方面からの理解を得るまでに相当な時間が必要だったと聞いている。現状の給食費について、真剣に考えなければならない時期に入ってきたのではないか。

会長 事務局から回答願う。

事務局 令和2年度の給食費改定にあたっては、今後の物価上昇を加味したうえで増額を決定した。そのため、改定前の苦しい状況で献立作成に携わっていた職員からは、現状の給食費でも、栄養価を考慮した献立作成がまだできている状況だと聞いている。

また、本市の給食費は、全国の政令市の中で、小学校は2番目、中学

校は3番目に高く、決して安い方ではない。他の政令市がより低額の給食費でやりくりしている中、本市がさらなる増額改定をすることは、保護者の皆さまの理解を得られないのではないかと考えている。

そのため、現状では給食費の増額改定は検討していないが、ウクライナ情勢等により実際に物価が上昇するのは半年後であるという報道も散見されるため、今後もこのままの給食費で問題がないとはいいきることはできない。

今後もコロナ禍や世界情勢の動向を注視し、給食費改定を検討しなければならない時期がきた際には、当審議会において適正な給食費について相談させていただきたい。

会長 他に意見や質問はあるか。

委員 (意見・質問なし)

会長 それでは以上で本日の議事はすべて終了となる。

事務局 以上で令和3年度第1回 仙台市学校給食運営審議会を閉会する。今後も本市の学校給食の充実、食育の推進について、指導を賜りたい。

以上

令和4年3月31日

署名委員 仙台市学校給食運営審議会 会長

目黒 悟

仙台市学校給食運営審議会 委員

高橋綾子